

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井県における新型コロナウイルス検査状況
発表学会名	令和3年度地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部微生物部会
発表者名	坂井 伸成（保健衛生部）
開催場所	書面開催
発表日時	令和4年3月
発表内容	<p>新型コロナウイルス感染症の令和3年1月から12月までの検査状況と、令和3年度感染症流行予測調査における新型コロナウイルス感染症感受性調査の結果について報告する。</p> <p>当センターにおける行政検査状況であるが、新型コロナウイルス感染症の確定のための検査を18,348件、変異株のスクリーニング検査を1,517件、次世代シーケンサーを用いた全ゲノム解析を238件実施した。なおこの間に福井県内で実施した患者確定検査は107,797件で、確定患者数は2,762名であった。</p> <p>流行予測調査における感受性調査については、令和3年7月から10月の期間に採取された血清（201検体）を対象として調査した。中和抗体価の測定を「感染症流行予測調査検査術式・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」に準じて微量中和試験により行うとともに、予防接種歴を調査した。</p> <p>収集した血清の年齢群別調査数は0～4歳：7名、5～9歳：16名、10～14歳：20名、15～19歳：17名、20～29歳：28名、30～39歳：26名、40～49歳：31名、50～59歳：39名、60歳以上：17名であった。ワクチンの接種歴は2回：127名、1回27名、0回42名、回数不明：5名であった。0回の42名の内訳は、接種ができない12歳未満が31名、13～19歳：7名、20～59歳：4名、60歳以上はいなかった。ワクチンの種類については、ファイザー社製：150名、モデルナ社製：2名、不明：7名であった。</p> <p>中和抗体価の測定結果であるが、160以上：14名、80：24名、40：43名、20：33名、10：26名、5：12名、5未満：49名であった。5未満の49名のワクチン接種歴は0回が42名、1回が7名、2回が0名であった。ワクチンを2回接種した各年齢群において、約半数が抗体価20以上を保有していた。年齢層が高くなるにつれて、保有する中和抗体価は低下する傾向がみられた。</p>